

事務事業名	生活支援体制整備事業			担当	健康福祉部 いきいき高齢課 地域支援係		
政策名	02	「笑顔づくり」～安心と元気アップ!～		<input type="checkbox"/> 総重 (総合計画重点事業) <input type="checkbox"/> 総新 (総合計画新規事業) <input type="checkbox"/> 戦拡 (総合戦略拡充事業) <input type="checkbox"/> 戦新 (総合戦略新規事業)	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input type="checkbox"/> 毎年度実施 (開始年度 H28 年度～) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 ( 年度～ 年度)		
施策名	2	共に支えあう地域福祉の推進					
関連個別計画	真岡市まち・ひと・しごと創生総合戦略			事業期間			
法令根拠	介護保険法115条の45第2項第5号						
予算科目	5.介護保険特別会計(保険事業助定)	3.地域支援事業費	3				
事業概要	地域における高齢者等の日常生活上の支援体制の充実及び強化を図るために次の事業を行う。 ・生活支援コーディネーターの配置(地域の生活支援のネットワークを構築する役割、サービスの担い手、高齢者が活躍する場の確保を調整する役割) ・協議体の設置(地域の自治会、民生委員、ボランティア、介護関係者による話し合いの場) ・協議体ごとに、地域住民による見守りや災害対策等の地域ニーズや課題の抽出、サービスの開発や担い手の発掘や育成をし、地域共生社会の実現に向け取り組む 配置及び設置 ・第1層 市 ・第2層 日常生活圏域(山前、中村、大内、真岡地区)						

1. 現状把握の部 (1) 事務事業の目的と指標

① 手段 (主な活動)	④ 活動指標 (事務事業の活動量を表す指標) の推移						
2年度実績 ・生活支援コーディネーター 第1層及び第2層を兼ねる 4名配置(社会福祉協議会に事業委託) ・協議体 第1層 1か所設置(全生活圏域) 第2層 4か所設置(山前、中村、大内、真岡地区) ・地域の課題抽出と解決のための協議会を開催  3年度計画 ・第2層協議体が未設置の二宮地区の設置を進める ・各協議体での地域支援づくりを進める	名称	単位	29 年度(実績)	30 年度(実績)	31 年度(実績)	2 年度(実績)	3 年度(見込)
	ア 第1層生活支援コーディネーター配置数	人	1	1	1	1	1
	イ 第2層生活支援コーディネーター配置数	人	1	2	2	3	5
	ウ 協議体設置数	箇所	2	4	4	4	5
	エ						
	オ						
② 対象 (誰、何を対象にしているのか) *人や自然資源等	⑤ 対象指標 (対象の大きさを表す指標) の推移						
・第2層日常生活圏域	名称	単位	29 年度(実績)	30 年度(実績)	31 年度(実績)	2 年度(実績)	3 年度(見込)
	ア 第2層日常生活圏域数	箇所	5	5	5	5	5
	イ						
	ウ						
	エ						
	オ						
③ 意図 (この事業によって、対象をどう変えるのか)	⑥ 成果指標 (対象における意図された対象の程度) の推移						
・市民が我が事として、自分の地域課題をとらえることができる	名称	単位	29 年度(実績)	30 年度(実績)	31 年度(実績)	2 年度(実績)	3 年度(見込)
	ア 生活支援コーディネーター配置割合	%	40	60	60	80	100
	イ						
	ウ						
	エ						
	オ						

(2) 総事業費の推移		単位	29 年度(実績)	30 年度(実績)	31 年度(実績)	2 年度(実績)	3 年度(見込)	
投入量	事業費	国庫支出金	千円	1,940	4,968	5,010	6,284	5,431
		県支出金	千円	970	1,555	1,568	1,967	2,715
		地方債	千円	0	0	0	0	0
		その他	千円	0	0	0	0	0
		一般財源	千円	4,972	1,555	1,568	1,968	5,960
	事業費計 (A)		千円	7,882	8,078	8,146	10,219	14,106

2. 1次評価の部 \*原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価

目的妥当性評価	①政策体系との整合性 市の政策体系に結び付き、社会環境や住民ニーズ等を考慮した上で目的は妥当か？	<input type="checkbox"/> 見直し余地はない <input type="checkbox"/> 見直し余地がある (評価理由) 高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画に基づき、地域包括ケアシステムの構築に向けて推進していく事業であり、結びついている。
	②公共関与の妥当性 市が事業に関与する必要があるか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地はない <input type="checkbox"/> 見直し余地がある (評価理由) 介護保険法に定められており、妥当である。
	③対象と意図の妥当性 ・1枚目の②「対象」③「意図」は適切か？ ・対象を限定・追加する必要があるか？ ・意図を限定・追加する必要があるか？	<input type="checkbox"/> 対象・意図を見直す必要はない <input type="checkbox"/> 対象を見直す必要がある <input type="checkbox"/> 意図を見直す必要がある (評価理由) 対象者、意図は介護保険法に定められており、妥当である。
有効性評価	④成果の向上余地 ・成果を向上させる余地はあるかどうか？ない場合の理由は適切か？ ・成果の現状水準とあるべき水準の差異はないか？ ・何が原因で成果向上が期待できないのか？	<input type="checkbox"/> 向上余地はない <input type="checkbox"/> 向上余地がある (評価理由) 介護保険法、地域支援事業実施要綱に定められている事業を実施する。
	⑤類似事業との統廃合・連携の可能性 ・類似事業はないか、統合や連携はできないか？	<input type="checkbox"/> 類似事業と統合・連携ができる(類似の事務事業名： ) <input type="checkbox"/> 類似事業と統合・連携できない(類似の事務事業名： ) <input type="checkbox"/> 類似事業はない (評価理由)
効率性評価	⑥事業費の削減余地 ・成果を下げずに実施主体の見直しによりコスト削減をできないか？ ・実施方法の適正化によりコスト削減をできないか？	<input type="checkbox"/> 削減余地がない <input type="checkbox"/> 削減余地がある (評価理由) 必要最低限の事業費であり、削減の余地はない。

3. 改革・改善方向の部

(1) 改革の方向性(改革案・実行計画) <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 見直し( <input type="checkbox"/> :目的妥当性 <input type="checkbox"/> :有効性 <input type="checkbox"/> :効率性 <input type="checkbox"/> :公平性) <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 継続 地域における高令者等の日常生活上の支援体制の充実及び強化を図る	(3) 改革・改善による期待成果 <table border="1"> <tr> <td></td> <td></td> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			コスト					削減	維持	増加	成果	向上				維持				低下			
			コスト																					
		削減	維持	増加																				
成果	向上																							
	維持																							
	低下																							
(2) 課題、課題の克服の方向性 二宮地区において協議体の設置に向けた説明会等を実施し地域の同意を得て協議体を設置し、生活支援コーディネーターを配置する																								

4. 事務事業の2次評価結果(事業の総括と事業の方向性)

(1) 1次評価結果の客観性と出来具合 <input type="checkbox"/> 記述説明不足(説明責任不充分) <input type="checkbox"/> 評価内容が客観性を欠く <input type="checkbox"/> 評価内容は客観的と言える		(5) 改革・改善による期待成果 <table border="1"> <tr> <td></td> <td></td> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			コスト					削減	維持	増加	成果	向上				維持				低下			
			コスト																						
			削減	維持	増加																				
成果	向上																								
	維持																								
	低下																								
(2) 2次評価者としての評価結果 ①目的妥当性 <input type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ②有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ③効率性 <input type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ④公平性 <input type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり																									
(3) 2次評価者として判断した今後の事業の方向性 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的絞込み <input type="checkbox"/> 目的拡充 <input type="checkbox"/> 事業統廃合 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善 <input type="checkbox"/> 予算削減 <input type="checkbox"/> 予算増大 <input type="checkbox"/> 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない)	(4) その他2次評価会議で指摘された事項																								